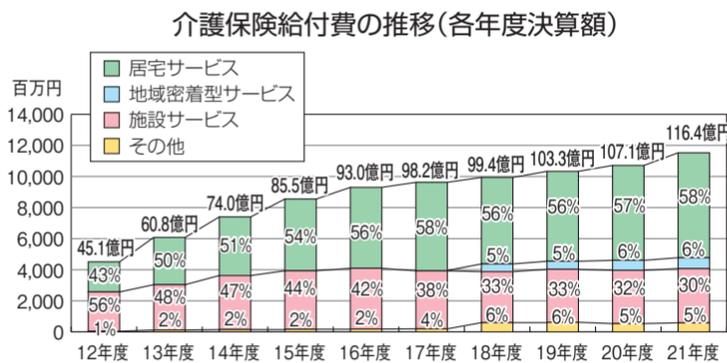


感謝する 気持ちでつながる 介護の輪

介護保険の未来は地域がつくる

介護の日は、介護についての理解を深め、介護従事者や介護サービス利用者とその家族等を地域の中で支援し、支え合いや交流を促進するために制定されました。介護の日をきっかけに、介護について考えてみませんか。問合せ 介護保険課 ☎内線2431



介護保険の状況

12年度以降、荒川区の高齢者(65歳以上)人口も上昇し続け、介護保険の第一号被保険者数は、4万4046人(22年3月末日現在)、12年度と比較して約1・2倍に増加しています。

介護保険の状況

高年齢の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など介護の必要性が増大する一方で、核家族化や介護する家族の高齢化など、介護を必要とする高齢者を支えてきた家族の状況も変化してきています。

介護保険制度は、そのような介護問題に対応するため、介護を必要とする人を社会全体で支える社会保険制度として、平成12年にスタートしました。

それまで老人福祉(措置制度)と老人保健(医療保険)に分かれていた高齢者の介護にかかわる制度を再編成し、介護を必要とする方が、必要な医療・福祉サービスを総合的・一体的に、利用者が選択して利用出来る仕組みとなりました。

また、在宅サービスを中心にサービス利用が急速に拡大し、12年度と21年度の保険給付費を比較すると約2・6倍に伸びており(左表参照)、介護保険は、介護を必要とする高齢者とその家族を支える仕組みとして定着してきています。

小・中学生の部

●最優秀賞(1編)
▽大丈夫! みんながあなたを支えてる
佐々木唯花(第一中学校1年)

●優秀賞(2編)
▽さしのべる その手が未来を変えられる
坂田晴香(第一中学校1年)

▽手をつなぎ みんなでつろう
介護の輪
清水陸月(瑞光小学校5年)

●佳作(5編)
▽わらってね みんながいるよ
大じょうぶ
菊地佳穂(第三瑞光小学校4年)

▽未来へつなげ この町の 優しい心と思ひやり
栗田美優(第一中学校1年)

一般の部

●最優秀賞(1編)
▽感謝する 気持ちでつながる介護の輪
佐藤かほり(南千住在住)

●優秀賞(1編)
▽よかったね 一人じゃないよ
介護保険
熊谷よし江(町屋在住)

●佳作(2編)
▽支え合い 生きるよろこび 分けあって
高橋弥生(南千住在住)

▽住みなれた町でいつまでも...
地域で支える介護の輪
帯屋七美(日暮里在勤)

みんなの介護標語コンクール

1068点のご応募ありがとうございました

介護をする方、される方の理解を深めると共に、地域で支え合っているよう、介護に関する心温まる標語を募集しました。厳正な審査の結果、次の作品が入賞しました(敬称略)。

▽支えあい みんなでサポート
明るい介護
福岡葵(第一中学校1年)

▽介護して 言われてうれい
感謝の言葉
高木悠平(第三中学校2年)

▽高齢化 支えてみせます ぼくたちが
金昇在(第三中学校2年)

世界に類を見ないスピードで進む高齢化は平成37年にピークを迎え、今後の介護保険制度を取り巻く状況は、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加などによる介護を迎えました。

介護保険制度という「未来への遺産」を次世代に残すために、区は、介護現場の声に耳を傾け、区民の皆さんと協力するとともに、変革への行動を強化し、未来に向けて更なる飛躍を目指します。

安心して住み慣れた地域で暮らせる社会へ

介護保険制度は、創設から10年を迎えました。

介護保険サービスの充実と地域で支え合う一人ひとりの取り組みや努力の積み重ねが、高齢期も安心して住み慣れた地域で暮らせる社会を築いていくために必要不可欠となります。

介護保険制度という「未来への遺産」を次世代に残すために、区は、介護現場の声に耳を傾け、区民の皆さんと協力するとともに、変革への行動を強化し、未来に向けて更なる飛躍を目指します。

最優秀賞を受賞した皆さん

一般の部

感謝する
気持ちでつながる
介護の輪
佐藤かほりさん
(南千住在住)

最近、入院を経験し、毎日高齢者と接するようになって、初めて介護について考えるようになりました。その時強く感じたのが、介護は、する方もされる方も大変な思いがあるということです。そこで、「感謝する」気持ちを作品にしてみました。

特に介護とはかわりがないが、まだ先のことを考えていましたが、今回の受賞をきっかけに、今の自分に出来ることをしていきたいと思っています。

小・中学生の部

大丈夫!
みんながあなたを支えてる
佐々木唯花さん
(第一中学校1年)

駅などでお年寄りが困っている場面などを考えながら作りました。自分のおじいちゃんやおばあちゃんと会うのは、一年に1回くらいなので介護のことはあまり考えたことはありませんが、この標語を見て、みんなが介護に関心を持ってくれたら良いなと思います。

家族からも最優秀賞に選ばれたなんてすごいねと言われて、とてもうれしく思っています。



荒川区長 西川 太一郎

窓

介護保険制度10年を振り返って

12年度にスタートした介護保険制度は、今年で10年を経過しました。介護保険制度は、それまで家族の負担により担われてきた高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして導入され、着実に定着しつつあります。

区は、制度発足以来繰り返し行われる改正により制度の狭間に立たされる利用者を支えるため、区独自の負担軽減措置や介護保険料の減免措置等を実施するなど、介護保険制度の安定した運営に努めてきました。最近では特別養護老人ホーム整備について、理解とご協力をお願いします。

て、利用者の負担が少なく利用しやすい多床室相部屋の必要性と地域の実情を、特別区長会を通じて強く訴えてきました。東京都とも力を合わせた結果、施設の在り方に対する国の方針を転換することが出来ました。

現在、区では、21年3月に策定した「第4期介護保険事業計画」に基づき、介護を必要とする高齢者等が、必要な時に必要なサービスを受けられるよう、適切な介護保険事業運営を進めているところです。

今号は、介護保険制度が歩んだ10年の軌跡をたどることで、区民の皆さまが介護をより身近に感じるきっかけにして頂きたいという思いで発行しました。

社会的に孤立しやすい方を社会のつながりの中で支え合う「協力社会」を、皆さまと共に構築する足掛かりとさせて頂きたいと思っております。今後とも、区の介護保険事業運営へのより一層のご理解とご協力をお願いします。

11月11日は介護の日 大丈夫！みんながあなたを支えている

介護保険制度創設10年

介護サービス永年勤続 従業者表彰

介護保険サービス事業所で、長年にわたり介護保険サービスに従事し、地域の高齢者福祉の増進に尽力した方を表彰する制度です。介護保険サービス従事者の勤労意欲の促進と共に、区内の質の高い介護サービスの確保を図ることを目的としており、次の63人が表彰されました(敬称略)。

●介護支援専門員(11人)
▽青木真理子
▽長部喜美子
▽金子のり子
▽桑原清美
▽千葉千鶴
▽渡邊谷子
●施設介護職員等(8人)
▽石橋千賀子
▽高橋三雪
▽松岡愛
▽大屋和枝
●サービス提供責任者(1人)
▽勝又正子
●生活相談員(2人)
▽高津美智子
●福祉用具専門相談員(1人)
▽武田左希子

●訪問介護員(32人)
▽青木真理子
▽伊藤あきみ
▽大和田早智子
▽小野トミ
▽酒巻節子
▽佐藤トミ
▽杉山ツナ
▽高見澤芳子
▽田島富子
▽中紀子
▽服部リヨ
▽樋口和子
▽水井文江
▽南広子
▽森田すみみ
▽柳瀬喜久美
▽山本さき代
●看護師(8人)
▽荒木美穂子
▽奥原直美
▽菅谷真理
▽村井康子
▽石井倫子
▽菅野喜代美
▽中村重紀
▽和田雅美
▽宮崎佳江
▽谷地敏秀子
▽山田八千代
▽渡辺菜子

介護サービス永年勤続従業者表彰者

より質の高いサービスを目指して

看護師・菅谷真理さん



▲訪問看護ステーションみどり
で働く菅谷さん(勤続10年)

私は病棟の看護師でしたが、ステーション研修で訪問看護を体験したことがきっかけで、在宅支援に興味を持ちました。在宅支援を続ける中で大変なことはありましたが、今まで続けることが出来たのは、スタッフや利用者、家族の支えがあったからだと思います。利用者も「安心出来ます」と言ってもらえることで信頼が生まれ、利用者やその家族の個々の価値観を認め、寄り添うことで共感が持てるようになりました。介護従事者にとって、利用者の価値観に共感出来ることは、大切な資質ではないかと思っています。

介護認定審査会の10年の歩み

荒川区医師会長 富田崇敏氏



介護保険制度は、平成12年4月にスタートし、10年が経過しました。超高齢化社会を見据え、医療と福祉の連携を旗印に、これまでの医療や年金等の社会保障制度とは異なる、新しい社会保険システムの導入へ向けています。

介護認定審査会の創設

介護認定審査会は、被保険者からの申請について、訪問調査の結果、主治医の意見を基に要介護状態に該当するかの審査・判定を行うことを業務として設置され、審査委員会として医師会員を多数出席させて頂いています。

介護保険制度の課題

いつの時代も新制度が発足すると、問題点や課題が噴出して来るのが常ですが、国は過去に何回か要介護認定の適正化・平準化を目的とした、主治医研修会を開催しています。最近では、21年4月に大掛かりな見直しが行われ、その一つ、一次判定ソフトでも介護の手間・時間の合計を要介護認定等基準時間として算出し、要介護度を判定するようになりました。

最後に、介護保険における「かかりつけ医」の役割についてお話しします。医療は生命の質の担保であり、介護は生活の質の担保と云われます。まさに、医療と介護は車の両輪であり、地域医療の現場で両者が緊密な連携をとることが最も重要です。医療と福祉の連携不足から起こる弊害として、医療を無視し、サービス量だけに重点を置いて作成されたケアプランののっぺりとした寝たきりの方が、のんびり休息することも出来る、異様な忙しさの毎日を送っているという不幸な事例があります。こうした不幸な事態が高じていくと、高齢者にとって医療へのアクセスがますます疎遠となり、QOL(生命・生活の質)の向上等が望むべくも無くなっていくでしょう。

いつまでも元気で
生き生きと
続けて良かった
「荒川ころばん体操」

「荒川ころばん体操」の魅力は何ですか

△たくさんの人と会い、話が出来ることが何よりも楽しいです
△友達が出来ます。知らない人と
もすぐに打ち解けることが出来ます
△自分と年代の離れた人と交流
出来て、その人の人生や経験を
伺うことが出来るのはとても魅
力的なことですよ

高齢者の転倒予防・体力づくりを目的とした「荒川ころばん体操」が生まれて9年目になります。区内のふれあい館・ひろば館など全24会場で開催し、1年間で約1500人、延べにすると約6万人の方が参加しています。開発当初から体操を継続し、更に「ころばん体操リーダー」として会場運営・体操の普及を担っている方のうち、5人にお話を伺いました。

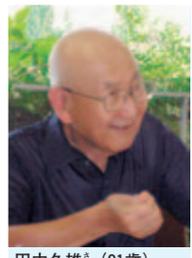
問合せ 高齢者福祉課 ☎内線2662

体操を始めたきっかけを教えてください

宮脇さん 健康について関心がありまして、過去に区から健康推進員に任命され、その活動中にお世話になった健康運動指導士の先生に勧められて69歳で荒川ころばん体操を始めました。



本橋華子さん(70歳)
週4日は体操に参加し、張り合いのある毎日を楽しんでいます。



津田さん 体操を通して知り合いが増えました。リーダーはボランティアですが、何より自分のために良いことばかりなので長く続いています。たくさんの方の前に出てお話しすることも適度な緊張があって良い刺激になっています。

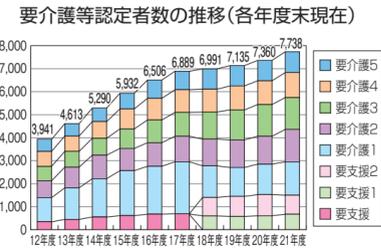


坂本留子さん(75歳)
始めて連何り下すまでおもしろい。気が大きくなると8年が過ぎました。健康な日々を過ごしたいです。

もともと、かかりつけ医の使命は、患者さんに少しでも安心して良質な医療を提供し、保健・福祉関連のスタッフと綿密に連携し、全人的にサポートさせて頂くところにあると考えています。

「こんな時!」介護保険認定申請が出来ます

要介護認定者数は年々増加し12年度の約2倍となっています(下表)。それだけ病気やけがで介護を必要とする方が増加していると言えます。認定申請が出来る方、病気がけがなどで介護が必要な状況になった次の方



①認定申請:区役所2階介護保険課または地域包括支援センターへ介護保険証を持参して下さい(主治医を1人決めておいて下さい)
②認定審査:認定調査員が自宅等を訪問して、体の状態等を

以上、医師会が少しかかわらせて頂いている介護認定審査会等を中心にお話しさせて頂きました。今後も、医療体制の更なる整備はもちろん、保健・福祉の分野との連携構築にも全力で取り組んでいきたいと考えています。

川区介護保険事業計画の進行管理や改定、その他介護保険事業の運営に関し、利用者の立場から、区に対して助言や意見を述べることがあります。委員は、医療・福祉の専門家や区民、区議会の代表者、学識経験者の方々です。

この10年の間に、介護保険制度はさまざまな見直しが行われ、認定制度の改正や介護予防の導入、地域包括支援センターの設置、地域密着型サービスの導入など、制度が複雑になり、分かりづらくなりました。また、介護保険の事業に異様な分野から民間企業が参入し、サービスが充実すると共に、事業者間の競争が進んでおります。このため、介護保険運営協議会の委員は第三者の立場から、新たな制度や事業者の指定などの区の報告に対し、分かりやすい説明を求め、荒川区の介護保険事業の運営が中立・公平であること、事業者に対する指定が公正に行われているかなどを厳しくチェックしてきました。

荒川区介護保険運営協議会10年の軌跡

中立・公正な介護保険事業の運営を
荒川区介護保険運営協議会会長 野木義美氏



平成12年介護保険制度発足から荒川区の介護保険運営協議会会長として、微力ながら荒川区の介護事業に関わって参りました。介護保険事業の円滑な運営を図ることを目的として設置され、「荒

今後、第5期介護保険事業計画策定を控え、介護保険運営協議会の役割がますます重要になることが想定されます。これからも、協議会は各委員が相互に意見を十分に行い、荒川区の介護保険事業が区民のためのより良い施策となるよう、質の高い助言が一層努めていきたいと思っています。



座談会

介護の現場で働く

区内介護サービス事業所で介護サービスに携わることで、介護保険制度の10年を支えてきた皆さんに、介護の現場での苦勞と喜び、これからの抱負について語って頂きました。
 問合せ 介護保険課 内線2436

自己紹介をお願いします

菊池 私は、以前から興味があった福祉の道を目指し、精神障がい者関係の仕事をしていた時にケアマネジャー(介護支援専門員)という仕事を知り、この世界に入りました。今年で4年半になりますが、まだまだ勉強の日々です。

波多 訪問介護に携わって今年で6年目です。現実には非常に厳しく、利用者さんそれぞれにさまざまなケースがあり、あまりにも範囲が広く、抱えている事情が深く、これからも勉強だと思っています。

和田 看護師から訪問看護を経由して、現在はデイサービスの所長です。現在は介護保険制度が始まって、高齢者自身の意識が徐々に「お金を払ってサービスを買う」という意識に変わってきたように感じています。

毎日現場での介護の仕事をしていて、良かったと思うのはどういう時ですか



テルウエル東京所長・訪問介護員・波多俊介さん



和田 利用者さんから「ありがとう」と言われた時ですね。うちの利用者さんは認知症ですから、中にはほとんど言葉を発しない方、言葉が混乱してしまう方も居るのですが、ふとした時に「ありがとう」と言ってくると、伝わっているんだなとうれしく感じます。

菊池 私の説得でデイサービスを利用し始めた利用者さんが、楽しく利用してくれて、表情も良くなると、良かったと思います。デイサービス等は、短時間でも介護から解放されることでご家族にも余裕が出来、家族の役にも立っているのかなとうれしく感じます。

波多 私の事業所は、必要最低限の人数での運営で大変ですが、全員で意見交換を密にし、チーム一丸となって困難な事例のサービスを軌道に乗せることが出来た時に達成感を感じます。

介護保険制度が利用者の役に立っていると感じるのはどんな時ですか

菊池 福祉用具も定価で買うと結構高価です。車いす等は介護保険で借りられるから思い切った外に出てみようと思ってくれる方も多く、利用者さんの生活の質の向上に役に立っていると思います。

波多 介護保険制度があっても、主介護者の、仕事・介護・家事の「3両立」は厳しいものがあります。ただ、介護保険が無ければ、今よりもっと厳しい状況になるわけで、それだけでも介護保険の

存在価値はあると思っています。仕事上での工夫、特に気を付けていることはありますか

波多 契約の時に訪問介護の出来ること・出来ないこと等を図にしてまとめたもの(右上イメージ図)を作成して、説明しています。

菊池 利用者宅を訪問する時は、区が発行する冊子「みんなのあんしん介護保険」を利用して、その利用者さんに必要な部分に集中して分かりやすく説明しています。

和田 契約をする前に、「まずは見に来て、雰囲気味わって感じて下さい」ということで、ご本人とご家族に見学に来て頂くようにしています。

これからの抱負をお願いします

和田 この荒川区を「安心して暮らせる街」にしたいなと思っています。私自身も、ここに住んで20年近くになりますし、第二の故郷のようなものです。自分が年老いた時に、「やっぱり荒川区って良いな」と思える街にしていきたいなと思っています。今年、勤労留学の男子中学生を2人受け入れ、介護の現場を見たり、体験したりしてもらいました。介護の魅力を知ってもらい、将来、介護職を志す



あつがる介護支援センター・ケアマネジャー・菊池保さん



デイサービスセンターかえで・のみじ所長・看護師・和田雅美さん

若者を増やしていきたいと思っています。そのためには、介護の仕事で一家の生計を支えられる、それに見合う賃金水準にならないと駄目だと思っています。そうなるよう、私も頑張っていきたいと思っています。介護をするってすばらしいことだと思っていますから。

波多 ドイツでの介護現場では、看護師と介護士の役割にあまり差が無いと聞きます。いまだに利用者の中には介護ヘルパーを「お手伝いさん」と認識されている方も居ます。どちらかが劣っているとこの意味ではありませんが、訪問介護サービスを利用する側から見ると、それぞれの仕事のある部分が重なり、区別しにくくなっているかも知れません。介護ヘルパーという地位を確立するためには、私を含めた介護ヘルパー自身が勉強し、専門性を高めていかなければと思います。

菊池 利用者やそのご家族に対して「頑張り」という言葉を安易に使わないように、いつも心掛けています。利用者もご家族も「頑張りません」と言いますが、頑張り過ぎない、頑張らなくて良い、余裕を持って介護が出来るようにしていきたいというも思っています。ご家族も「大変なんだよね」と言いながらも、それを笑いながら言えるような介護が出来るようにしていきたいと思っています。

本日ありがとうございます

これからも、皆さんが荒川区の介護保険サービスの現場で活躍することを期待しています

介護保険は みんなで支え合っています



介護保険料は納期限までに納めましょう

災害等の特別な理由により、生活が著しく困窮した時には、介護保険料の減免を受けられる場合があります。お困りの場合は、ご相談下さい。相談・問合せ 介護保険課(区役所2階) 内線2441

